



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月30日
東

上場会社名 大日本住友製薬株式会社 上場取引所
 コード番号 4506 URL http://www.ds-pharma.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 正世
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 エグゼクティブ コミュニケーションオフィサー (氏名) 樋口 敦子 (TEL) 03-5159-3300
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月2日 配当支払開始予定日 平成29年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	240,463	21.4	47,243	76.7	48,395	102.6	34,887	219.4
29年3月期第2四半期	198,088	△0.4	26,731	58.7	23,881	36.4	10,922	△17.3

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 39,736百万円(-%) 29年3月期第2四半期△24,242百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	87.81	—
29年3月期第2四半期	27.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	828,542	496,021	59.9
29年3月期	793,950	460,656	58.0

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 496,021百万円 29年3月期 460,656百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	9.00	—	11.00	20.00
30年3月期	—	9.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	11.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	474,000	15.1	72,000	36.5	72,000	32.5	47,000	62.1	118.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	397,900,154株	29年3月期	397,900,154株
30年3月期2Q	600,993株	29年3月期	600,484株
30年3月期2Q	397,299,414株	29年3月期2Q	397,300,888株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件等につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・四半期決算短信の開示とあわせて、四半期決算補足資料および四半期決算説明会資料を開示しております。

・当社は、平成29年10月31日(火)に機関投資家・アナリスト向けに、第2四半期決算説明会を開催する予定です。この決算説明会の動画については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりであります。

前年同期との比較では、売上高は、日本セグメントでは、長期取載品の売上は減少しましたが、高血圧症治療剤「アイミクス」、パーキンソン病治療剤「トレリーフ」および2型糖尿病治療剤「トルリシティ」等プロモーション品の売上が増加した結果、増収となりました。北米セグメントでは、非定型抗精神病薬「ラツダ」の売上が大きく拡大したこと等により、大幅な増収となりました。これらの結果、連結合計では2,404億63百万円（前年同期比21.4%増）となりました。営業利益は、販売費及び一般管理費は増加しましたが、増収による売上総利益の増加の影響が大きく、472億43百万円（同76.7%増）となり、経常利益は483億95百万円（同102.6%増）となりました。また、当第2四半期連結累計期間において特別損益の計上はないことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は348億87百万円（同219.4%増）と大幅な増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 日本

「トルリシティ」の売上が大きく伸長したことに加え、「アイミクス」、「トレリーフ」およびファブリー病治療剤「リプレガル」等の増収が、長期取載品の減収を補い、売上高は728億44百万円（同3.3%増）となりました。セグメント利益は、人件費の減少や販売関連費用の削減等による販売費及び一般管理費の減少により、217億10百万円（同11.0%増）となりました。

② 北米

主力品である「ラツダ」の売上が大きく拡大したことに加え、シクレソニド3製品（喘息・アレルギー性鼻炎治療剤）の販売権を譲渡したこと等により、売上高は1,273億4百万円（同39.3%増）となりました。セグメント利益は、販売費及び一般管理費は増加しましたが、増収による売上総利益の増加の影響が大きく、572億98百万円（同49.7%増）となりました。

③ 中国

カルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」等の売上が堅調に推移したことから、売上高は115億3百万円（同25.4%増）、セグメント利益は54億77百万円（同28.2%増）となりました。

④ 海外その他

「メロペン」の輸出の増加等により、売上高は67億62百万円（同28.1%増）、セグメント利益は17億88百万円（同44.2%増）となりました。

上記報告セグメントのほか、当社グループは、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の販売を行っており、それらの事業の売上高は220億48百万円（同1.5%増）、セグメント利益は13億66百万円（同23.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産およびキャッシュ・フローの状況に関する分析

① 資産および負債純資産の状況

資産については、流動資産は、棚卸資産や短期貸付金等は減少しましたが、現金及び預金や受取手形及び売掛金等が増加したことにより、前期末に比べ297億60百万円増加しました。固定資産は、有形固定資産や無形固定資産は減少しましたが、投資有価証券が増加したことにより、前期末に比べ48億32百万円増加しました。これらの結果、総資産は前期末に比べ345億92百万円増加し、8,285億42百万円となりました。

負債については、売上割戻引当金等が増加しましたが、長期借入金の返済等により、前期末に比べ7億72百万円減少し、3,325億20百万円となりました。

純資産については、利益剰余金の増加に加え、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定等の増加により、前期末に比べ353億65百万円増加し、4,960億21百万円となりました。

なお、当四半期末の自己資本比率は59.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加や未払金の減少等によるキャッシュの減少要因がありましたが、税金等調整前四半期純利益が増加したことに加え、法人税等の支払額が大きく減少したことにより、前年同期に比べ312億48百万円収入が増加し、447億74百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期は、多額の短期貸付金の回収があり、全体で収入となりましたが、当第2四半期連結累計期間は、有形固定資産への設備投資や投資有価証券の取得等により、65億70百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に長期借入金の返済や配当金の支払等であり、前年同期に比べ141億60百万円支出が減少し、123億69百万円の支出となりました。

上記のキャッシュ・フローに、現金及び現金同等物の為替換算による影響額を加えた結果、当四半期末における現金及び現金同等物は1,321億65百万円となり、前期末に比べ265億61百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向を踏まえ、平成29年7月28日に公表した平成30年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正しました。

平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	464,000	65,000	65,000	44,000	110.75
今回修正予想 (B)	474,000	72,000	72,000	47,000	118.30
増減額 (B - A)	10,000	7,000	7,000	3,000	—
増減率 (%)	2.2	10.8	10.8	6.8	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	411,638	52,759	54,341	28,991	72.97

売上高は、日本、北米および中国セグメントで好調に推移しており、通期では前回発表予想値を100億円上回る見込みです。

一方、販売費及び一般管理費は、前回発表予想値から15億円の増加を見込んでいますが、増収による売上総利益の増加がこの影響を上回る見込みです。

これらのことから、平成30年3月期の通期連結業績予想数値を、平成29年7月28日に公表した予想値に対し、売上高は100億円増の4,740億円、営業利益は70億円増の720億円、経常利益は70億円増の720億円、親会社株主に帰属する当期純利益は30億円増の470億円に修正します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	71,408	92,290
受取手形及び売掛金	110,932	118,274
有価証券	34,195	39,875
商品及び製品	54,973	54,221
仕掛品	3,356	3,581
原材料及び貯蔵品	10,477	9,058
繰延税金資産	60,956	59,074
短期貸付金	16,731	14,656
その他	13,427	15,188
貸倒引当金	△4	△5
流動資産合計	376,454	406,214
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	95,726	96,418
減価償却累計額及び減損損失累計額	△57,174	△58,433
建物及び構築物（純額）	38,551	37,984
機械装置及び運搬具	79,585	78,627
減価償却累計額及び減損損失累計額	△72,820	△71,994
機械装置及び運搬具（純額）	6,765	6,633
土地	6,264	6,266
建設仮勘定	3,112	2,866
その他	32,353	32,397
減価償却累計額及び減損損失累計額	△27,794	△27,850
その他（純額）	4,559	4,546
有形固定資産合計	59,253	58,298
無形固定資産		
のれん	90,565	87,907
仕掛研究開発	193,970	194,921
その他	19,774	17,820
無形固定資産合計	304,310	300,649
投資その他の資産		
投資有価証券	48,034	57,990
退職給付に係る資産	646	803
繰延税金資産	710	133
その他	4,568	4,485
貸倒引当金	△29	△32
投資その他の資産合計	53,931	63,380
固定資産合計	417,495	422,327
資産合計	793,950	828,542

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,514	15,771
短期借入金	40,000	40,000
1年内償還予定の社債	10,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	8,000	—
未払法人税等	8,818	11,906
賞与引当金	10,986	10,135
返品調整引当金	11,315	11,729
売上割戻引当金	65,652	72,835
未払金	36,986	35,018
その他	22,172	18,855
流動負債合計	228,447	236,252
固定負債		
社債	10,000	—
繰延税金負債	32,583	33,256
退職給付に係る負債	13,498	13,632
その他	48,764	49,379
固定負債合計	104,846	96,268
負債合計	333,293	332,520
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,400	22,400
資本剰余金	15,860	15,860
利益剰余金	363,627	394,145
自己株式	△666	△667
株主資本合計	401,221	431,738
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,439	21,050
繰延ヘッジ損益	△20	19
為替換算調整勘定	45,729	48,051
退職給付に係る調整累計額	△4,712	△4,838
その他の包括利益累計額合計	59,435	64,283
純資産合計	460,656	496,021
負債純資産合計	793,950	828,542

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	198,088	240,463
売上原価	47,890	60,519
売上総利益	150,198	179,943
返品調整引当金戻入額	9	0
差引売上総利益	150,207	179,943
販売費及び一般管理費		
給料	19,849	20,531
賞与引当金繰入額	5,825	5,980
退職給付費用	2,290	1,761
研究開発費	37,744	40,382
その他	57,766	64,043
販売費及び一般管理費合計	123,476	132,699
営業利益	26,731	47,243
営業外収益		
受取利息	446	426
受取配当金	715	491
為替差益	—	815
その他	204	104
営業外収益合計	1,366	1,838
営業外費用		
支払利息	325	211
寄付金	280	276
固定資産除却損	65	153
為替差損	3,454	—
その他	89	45
営業外費用合計	4,215	686
経常利益	23,881	48,395
特別利益		
投資有価証券売却益	3,802	—
特別利益合計	3,802	—
特別損失		
事業構造改善費用	9,992	—
特別損失合計	9,992	—
税金等調整前四半期純利益	17,691	48,395
法人税等	6,769	13,507
四半期純利益	10,922	34,887
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,922	34,887

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	10,922	34,887
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,089	2,611
繰延ヘッジ損益	△84	39
為替換算調整勘定	△30,099	2,322
退職給付に係る調整額	109	△125
その他の包括利益合計	△35,164	4,848
四半期包括利益	△24,242	39,736
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△24,242	39,736
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	17,691	48,395
減価償却費	6,753	6,224
のれん償却額	2,604	3,258
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	165	△197
その他の引当金の増減額(△は減少)	7,740	6,244
受取利息及び受取配当金	△1,162	△918
支払利息	325	211
投資有価証券売却損益(△は益)	△3,802	—
事業構造改善費用	9,992	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,810	△6,952
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,891	2,465
仕入債務の増減額(△は減少)	4,476	1,180
未払金の増減額(△は減少)	△1,295	△2,567
その他	△2,334	△4,284
小計	38,074	53,060
利息及び配当金の受取額	1,190	836
利息の支払額	△190	△1,137
法人税等の支払額	△25,548	△7,986
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,526	44,774
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,365	△2,055
無形固定資産の取得による支出	△641	△593
投資有価証券の取得による支出	△179	△6,181
投資有価証券の売却による収入	4,878	—
短期貸付金の純増減額(△は増加)	31,700	2,146
その他	165	113
投資活動によるキャッシュ・フロー	31,558	△6,570
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△952	—
長期借入金の返済による支出	△12,000	△8,000
社債の償還による支出	△10,000	—
配当金の支払額	△3,575	△4,368
その他	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△26,530	△12,369
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,717	727
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,836	26,561
現金及び現金同等物の期首残高	135,575	105,603
現金及び現金同等物の四半期末残高	140,412	132,165

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	70,542	91,366	9,174	5,278	176,362	21,726	198,088
セグメント間の内部 売上高又は振替高	31	—	—	—	31	32	63
計	70,574	91,366	9,174	5,278	176,394	21,758	198,152
セグメント利益	19,567	38,270	4,272	1,240	63,350	1,110	64,461

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	63,350
「その他」の区分の利益	1,110
研究開発費(注)	△37,744
セグメント間取引消去	14
四半期連結損益計算書の営業利益	26,731

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分していません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	72,844	127,304	11,503	6,762	218,414	22,048	240,463
セグメント間の内部 売上高又は振替高	70	—	—	—	70	37	108
計	72,915	127,304	11,503	6,762	218,485	22,086	240,571
セグメント利益	21,710	57,298	5,477	1,788	86,274	1,366	87,640

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	86,274
「その他」の区分の利益	1,366
研究開発費(注)	△40,382
セグメント間取引消去	△14
四半期連結損益計算書の営業利益	47,243

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。